

会議結果報告書

- 1 会議の名称
令和6年度第2回光市立図書館協議会会議
- 2 開催日時
令和7年1月31日（金） 13時30分～15時
- 3 開催場所
光市立図書館 2階 視聴覚室
- 4 出席者
7名（欠席1名）
- 5 公開・非公開の別
公開（傍聴人0名）
- 6 会議の議事録（要旨）
 - （1）館長挨拶
 - （2）資格審査（委員8人中7人出席、協議会成立）
 - （3）議事
 - ア 議題1 令和6年度事業の実施状況について
（事務局）
令和6年度事業の実施状況について説明
 - （委員）
光市立図書館のFacebookではこういった情報発信を行っていますか。
 - （事務局）
Facebookには行事の案内、当日の行事の様子を掲載しています。毎週職員が持ち回りでおすすめの本を紹介しています。また、展示内容が変更となった際にも紹介しています。
なお、今年度は光市新市誕生20周年記念事業「オーサービジット事業校外編」での実行委員の中高生の活動報告も行いました。

(委員)

ひかり絆 BOX 活動の内容についてお聞きします。

(事務局)

この活動は、光市社会福祉法人地域公益活動推進協議会が窓口となり、ご家庭で使用されていない学用品、日用品などを提供してほしい家庭へお渡しするという事業です。図書館からは「心の栄養」として提供された本や絵本を配置し、持って帰ってもらっています。

(委員)

防府市では来年度図書館の LED 化を行います。光市では LED 化の予定はありますか。

(事務局)

蛍光灯は 2027 年度までに製造も輸入もされなくなります。玄関ホールと新聞コーナーについては、LED 化を行う予定としています。

(委員)

Instagram での情報発信の予定はありますか。

(事務局)

Instagram で図書館が情報発信する場合、著作権の問題や、写真掲載の許可を得る必要があるなど HP や Facebook に比べて難しく感じており実現に至っていません。

本の表紙を掲載する場合など、著者名、出版社名等を明記する必要がありますので、写真のみを投稿していく Instagram とそぐわないのではと考えています。

(委員)

光市新市誕生 20 周年記念事業「オーサービジット事業校外編」の実行委員について、本校からも生徒の参加があり、非常に勉強になったと喜んでいました。

参加者を募る段階で大変苦労されたと思いますが、今後、こうしたイベントについて、市内中学校と図書館とが連携をとって一層イベントを盛り上げていたら良いと思いました。

また、開催に際し、中学校への度重なる情報提供について、お礼申し上げます。

イ 議題2 令和7年度事業案について

(事務局)

令和7年度事業案について説明

(委員)

次期光市子どもの読書活動推進計画の策定に向けたアンケートの期間と対象者についてお聞きします。

(事務局)

次期光市子どもの読書活動推進計画は令和9年4月から実施となるため、その前年の令和8年度が策定の年度にあたります。策定年度の前年度にアンケートを取ります。時期と対象者についてですが、保育園、幼稚園の年長児、小学4年生、中学2年生、高校2年生を対象にアンケートを配布させていただいて、秋の読書週間期間中に回答していただくようにしています。前回の計画の際には光市電子図書館は始まっていませんでしたが、令和4年度から市内中学校に電子図書館利用カードを配布する学校連携を行っており、実際、電子図書館を使ってみての感想等の質問も考えています。

また、毎回、重複する質問については、その推移を知る貴重な機会となっています。

ウ 議題3 各委員からの提案事項等について

(ア) 向山文庫（難波軍庵について）について

(委員)

テレビで光市の向山文庫について放送されていて、光市に向山文庫というものがあることを初めて知った。向山文庫や設置者の難波軍庵について教えてもらいたい。

(事務局)

向山文庫について、概略のみ簡単にご説明いたします。

1862年に萩藩寄組清水氏の家老職にあった難波軍庵が私塾を開設しました。1883年には現在の地である光市大字立野1011番地に2階建ての建物を新築し、向山文庫と称しました。1906年の図書館令改正で私立向山文庫と称し、翌2年の1908年からは県立図書館の巡回文庫を借り受けるなど活発な活動が行われましたが、後年は荒廃し、閉鎖されました。その後、昭和51年7月14日に市指定史跡として登録を受けていますが、私有地であり、持主がおられます。書籍の一部は、県の文書館と光市文化センターに寄託されています。

(イ) 移動図書館車の導入の検討について

(委員)

以前にも提案したしましたが、光市立図書館で移動図書館車の導入を検討されてはいかがでしょうか。

(事務局)

1台が四百数十万円からと非常に高額なため、現在も引き続き検討中です。

(委員)

図書館だけが予算要求をしてもなかなか実現しないと思います。図書館ボランティアの方々も働きかけていくことも大事だと思います。

(ウ) 図書館ボランティアの後継者の育成について

(委員)

図書館で活動するボランティア団体は高齢化が進んでおり、図書館まつりでものを運んだりするにも支障が生じている。その中で、図書館まつりにボランティアで参加してくれる中高生には大いに助けられています。図書館ボランティアは次世代を育てていかないといけない時期に来ていますが、メンバーも固定化されてしまっており、次の世代を育てることが難しい状況です。来年度は募集のチラシを配布したり、イベント時に積極的に呼びかけを行いたいと思っています。

(事務局)

令和5年度末の図書館ボランティア登録者数については、年報でご報告したとおり、個人10人、団体9団体64人、高校生ボランティア30人の計104人です。

今年度は、高校生ボランティアが19人と、前年より減少しておりますが、新市誕生20周年記念事業のオーサービジット事業「柳田理科雄先生講演会」では、中学生12人、高校生3人の計15人の実行委員。そして、図書館まつりでは、中学生リーダー11人、高校生5人の計16人の積極的な参加があり、イベントを盛り上げてくれました。

ボランティアの高齢化については、図書館に限らず地域の課題となっているかと思っています。

図書館としても図書館ボランティアと知恵を出し合いながら、まずは高校生ボランティアの育成、学校連携による中学生との関りを深めながらボランティアの受け入れ窓口を広げていきたいと思っています。

令和7年度の図書館まつりは節目となる10回目となりますし、令和8年で光市立図書館開館から50周年を迎えますので、様々な方に働きかける良い機

会になればと考えています。皆様のお知恵を拝借したいので、ご協力をお願いいたします。

(会長)

中学校の地域移行は現在、どういった状況ですか。

(委員)

中学校の部活動の地域移行ということで、いよいよ来年度末に光市、周南市は部活動を閉じることとなります。今在籍している中学一年生と来年度入学してくる新一年生が引退するまでは令和8年の夏まで大会に出ることとなります。本校は図書館から一番近いので放課後の過ごし方として図書館を勧めていきたいと同時に、来年度から学校の図書室を地域の方に開放していきたいと考えており、一緒に本を楽しむ中で、光市立図書館のボランティア活動や読書活動へ参加させていけたらと考えているところです。

(エ) こどものために特化した図書館について

(委員)

移動図書館車も良いと思っておりますが、こどもが本を読める場所ができることよいと思いました。過去の光市子どもの読書活動推進計画のアンケートを見させて頂きましたが、「図書館が遠い」、「図書館に行く時間がない」という意見がトップに挙がってきています。図書館に来られないと図書館に親しみが持てないこどもが増えてしまい、結果的にボランティアの不足にも繋がってしまうのではないかと思います。こども連れの親御さんも図書館で騒がしくしてはいけないなと考える人が多いと思うので、こども連れの人気が気軽に寄れる図書館があれば良いと思いました。

(事務局)

ご提案いただきましたこどものために特化した図書館についてですが、こどもたちが気軽に行けるよう交通インフラの整っている街にそうした図書館があれば、非常に魅力的なご提案だと思います。

ご承知のとおり、光市は様々な地区に分かれ、現況ではこどもが他の地区に移動するには車が必要となっており、そうした中においては、機能を差別化するよりも全世代型の従来の図書館において、親子で訪れた際に、大人もこどもも楽しめる図書館を引き続き提供できたらと思います。

なお、光市立図書館では、「第4次光市子どもの読書活動推進計画」に基づき、乳幼児期から絵本に親しんでもらえるよう絵本等を配布する「ブックスタート」事業、幼稚園・保育園・小学校には職員が出向いて行う「出前講座」、学校から依頼があったテーマの本を届ける「巡回図書」、中学校とは「光市電

子図書館の利用カード配布」などの連携した事業を行い、こどもたちの読書活動の機会の拡充に努めています。

(会長)

最後にその他の事項で委員の皆様からご質問ございませんでしょうか。

(委員)

図書館まつりで開催される幼児おはなしのえ展では、みんなの絵が飾られていて親御さんもとっても喜んでいました。これが図書館に行くきっかけや絵本に親しむきっかけになったら良いと思っています。保育園の時期に想像する力や共感する力を育てていきたいと思っています。

(6) 連絡事項 令和7年度光市立図書館協議会の開催日程について

(事務局)

例年通り7月と2月の開催を予定しています。

7 問い合わせ先

光市立図書館

電話番号：0833-72-1440